



ペプチドで元気を世界へ

FunPep Report

2024年12月期(第12期)

2024年1月1日～2024年12月31日

株式会社ファンペップ

証券コード：4881

皆様へ

健康で活気あふれる 元気な生活を提供する 機能性ペプチド製品を開発します。

代表取締役社長 三好 稔美



皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度の振り返り

2024年は医薬品開発の事業としてSR-0379の追加の第Ⅲ相試験開始の決定、花粉症などのアレルギー疾患治療薬であるFPP004Xの製薬会社との提携活動と第Ⅰ相試験開始に向けた前臨床試験の実施、新規パイプラインの探索及び弊社開発品の周辺技術を獲得するため共同研究先の拡大などを推進してまいりました。

皮膚潰瘍治療薬のSR-0379は追加第Ⅲ相試験を開始すべく、(独) 医薬品医療機器総合機構と相談し、2024年12月より本治験を実施するに至りました。

花粉症などアレルギー疾患の原因となるIgE (Immunoglobulin E) の作用を抑制する抗体誘導ペプチドFPP004Xは前臨床試験を計画通り実施しております。また、2024年3月に塩野義製薬株式会社(以下、「塩野義製薬」)とオプション契約を締結するに至りました。

標的タンパク質IL-17Aに対する抗体誘導ペプチドFPP003は現在強直性脊椎炎患者様に対し、初期第Ⅱ相試験を医師主導試験として国内で実施中です。

疼痛治療薬、熊本大学と共同研究実施中の脂質異常症治療薬などについて抗体誘導ペプチド医薬品候

補の探索を継続しました。新規開発テーマとしては、東京大学で研究開発中の心不全治療薬について弊社は心不全治療用ワクチンの開発に研究開発分担者として参加することになりました。

新規開発化合物の探索研究と並行して、強力な抗体産生を誘導する様々な製剤技術の研究にも取り組んでおります。塩野義製薬と新規ワクチンアジュバントに関する共同研究、POP Biotechnologies, Inc.の新規リポソーム技術(SNAP技術)に関する研究を開始しております。また、株式会社ゼウレカとAI創薬支援サービスに関する研究委託契約を締結し、AI創薬研究も開始しております。

2025年度の見通し

SR-0379は追加第Ⅲ相試験を実行してまいります。FPP004Xは第Ⅰ相試験を開始いたします。FPP003は引き続き医師主導臨床試験のサポートを行ってまいります。

基礎研究テーマ及びその他の周辺の技術についても継続検討してまいります。医薬品以外の事業については事業拡大できる共同開発先の探索を続けてまいります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、注目のモダリティ「ペプチド」によって医療・社会ニーズに応える医薬品を開発することを目指し、主に2つのプロジェクト（抗体誘導ペプチド、皮膚潰瘍治療薬「SR-0379」）の研究開発に取り組んでいます。

抗体誘導ペプチド

次世代ワクチン技術「抗体誘導ペプチド」を難治性疾患の治療に応用し、患者様のニーズに応える医薬品開発に邁進しています

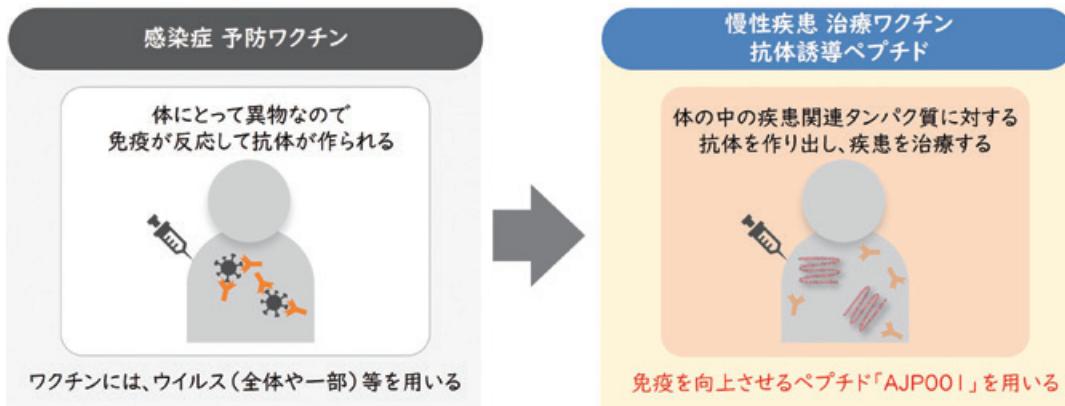
これまでのワクチンはウイルスや細菌等の「異物」を排除するための感染症予防ワクチンでしたが、当社は、独自の機能性ペプチド「AJP001」をコア技術として用いることにより（生体内の疾患関連タンパク質をターゲットとする）慢性疾患に対する治療ワクチン「抗体誘導ペプチド」の研究開発に取り組んでいます。

抗体誘導ペプチドの特徴は、体内で免疫細胞が抗体を産生するため効果が長く持続することです。慢性疾患の治療には様々な飲み薬や塗り薬、注射薬が使用されていますが、効果の持続性に優れた抗体誘

導ペプチドを使用することで数ヶ月に一度の注射によって治療効果が維持し、患者様の服薬アドヒアランス（服薬遵守）改善と利便性向上によるQOL（Quality of life、生活の質）向上が期待されます。

また難治性の慢性疾患分野においては、化学合成で製造可能な抗体誘導ペプチドを高額の抗体医薬品に対して医療費を抑制できる代替薬として開発し、先進国で深刻化する医療財政問題の解決や患者様の経済的負担の低減に貢献していきたいと考えております。

感染症予防ワクチンと抗体誘導ペプチドの違い



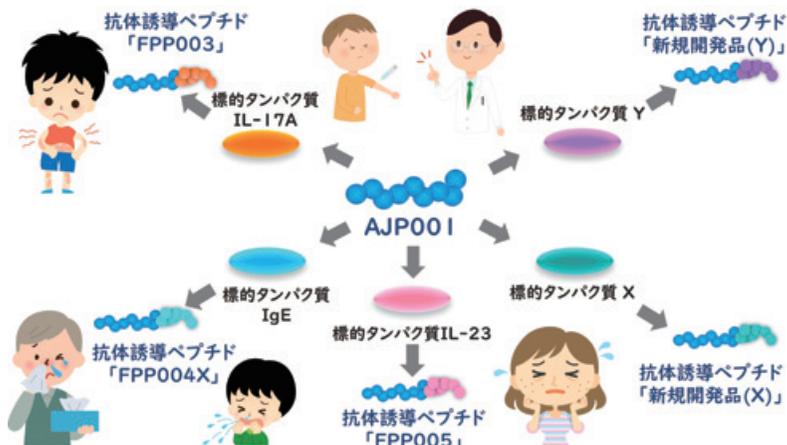
当社の強み

大阪大学大学院医学系研究科の研究成果である機能性ペプチド「AJP001」を用いた抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術「STEP UP」※を保有していることが当社の強みです。

免疫防御システムの一翼を担う「抗体」は、医薬品の標的タンパク質（自己タンパク質）に対しては通常体内で産生されませんが、当社は免疫反応を引き起こす機能を持つ「AJP001」を使って抗体誘導ペプチドを設計することにより「抗体」産生を誘導しています。

当社は、この創薬プラットフォーム技術により既存の抗体医薬品の標的タ

ンパク質等に対する様々な抗体誘導ペプチドを創出し、（既存抗体医薬品の知見により）開発リスクが低減された研究開発活動を行っております。



※ 創薬プラットフォーム技術「STEP UP」の詳しい説明は、「2024年12月期 有価証券報告書」をご覧ください。

皮膚潰瘍治療薬「SR-0379」

褥瘡等の皮膚潰瘍患者様のQOL向上を目指した医薬品開発を進めています

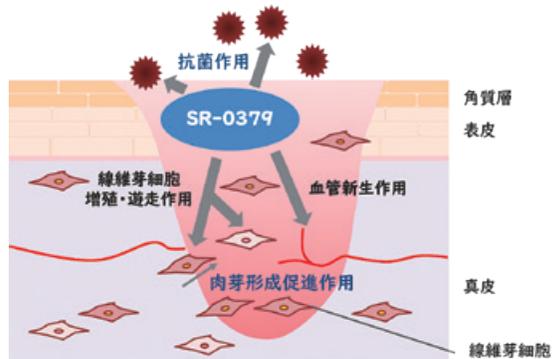
SR-0379は、寝たきりの高齢者に発生することが多い褥瘡（床ずれ）等の皮膚潰瘍を対象疾患とする機能性ペプチドの開発化合物です。

皮膚のバリア機能が欠損して様々な細菌が創面に付着している皮膚潰瘍の治療には、細菌、感染のコントロールが重要です。SR-0379は、血管新生や肉芽形成促進による創傷治癒促進作用に加え、抗菌活性を併せ持つことが強みです。

当社は、SR-0379の開発により、褥瘡等の皮膚潰瘍の早期回復を促進し、患者様のQOL（Quality of Life、生活の質）向上に貢献することを目指しております。

現在、塩野義製薬株式会社との共同開発を進めています。

SR-0379の作用メカニズム



研究開発パイプライン

当社は独自の創薬技術を強みに抗体誘導ペプチドを中心に研究開発パイプラインの拡充を図っています。

● 開発品

種類	開発品	対象疾患	臨床試験実施地域	探索研究	前臨床	臨床試験			導出先等
						第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	
機能性ペプチド	SR-0379	皮膚潰瘍	日本			第Ⅲ相臨床試験 (O2試験)			塩野義製薬㈱ (全世界のライセンス契約)
抗体誘導ペプチド	FPP003 (標的:IL-17A)	乾癬	豪州			第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験			住友ファーマ㈱ (北米のオプション契約)
		強直性脊椎炎	日本			医師主導治験 第Ⅱα相			
	FPP004X (標的:IgE)	花粉症 (季節性アレルギー性鼻炎)	—		前臨床				塩野義製薬㈱ (全世界のオプション契約)
	FPP005 (標的:IL-23)	乾癬	—		前臨床				未定

● 研究テーマ

種類	対象疾患	提携企業
抗体誘導ペプチド	精神神経疾患	住友ファーマ㈱
	片頭痛、高血圧、アレルギー性疾患、抗血栓	未定
	脂質異常症、アルツハイマー病、心不全	

(2025年2月12日現在の状況です)

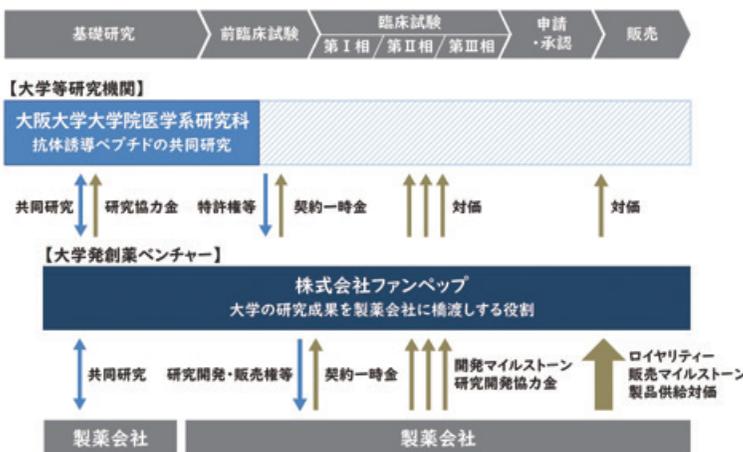
ビジネスモデル

当社は、大阪大学発の創薬ベンチャーです。大学の研究成果を製薬会社への橋渡しに向けてインキュベート（研究開発を推進）する役割を担っています。

製薬会社から提携収入を受取りながら研究開発を進め、当社開発品の発売後に製薬会社からの製品販売額に応じたロイヤリティ収入等によって利益拡大を実現する計画です。

また、医薬品以外の事業分野については、子会社の株式会社ファンベップヘルスケアを通し、機能性ペプチドの特徴を活かした製品開発に取り組んでいます。

医薬品研究開発プロセスと大学発創薬ベンチャーの役割



決算情報 (連結、2024年12月期)

(単位：百万円)

損益計算書 (要約)

事業収益	6
事業費用	907
(内、研究開発費)	(540)
営業損失 (△)	△901
経常損失 (△)	△896
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△889

その他主な経営指標等

現金及び預金	2,346
株主資本	2,538
総資産額	3,110
自己資本比率	81.6%

会社概要 (2024年12月31日現在)

商号	株式会社ファンペップ (英名：FunPep Company Limited)
設立	2013年10月11日
資本金	3,308百万円
従業員	15名

役員 (2025年3月27日現在)

代表取締役社長	三好 稔美
取締役 研究開発部長兼CSO	富岡 英樹
取締役 管理部長兼CFO	林 毅俊
取締役 (社外)	柴木 憲和
取締役 (社外)	原 誠
常勤監査役 (社外)	堀口 基次
監査役 (社外)	南 成人
監査役 (社外)	真鍋 淳也

株式の状況 (2024年12月31日現在)

発行可能株式総数	56,000,000株
発行済株式総数	32,408,800株
株主数	12,360名

所有者区分別株式数 (2024年12月31日現在)

(単位：1単元の株式数 100株)



個人・その他	211,401 (65.25%)
金融商品取引業者	34,193 (10.55%)
その他の法人	67,659 (20.88%)
その他	10,736 (3.32%)
合計	323,989

(注) 上記以外に単元未満株式9,900株があります。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 フリーダイヤル：0120-782-031

(受付時間：土・日・休日を除く9:00~17:00)

公告方法 電子公告により行う

※ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。